

卒業生等による大学教育評価報告書  
-教育内容の改善・向上を目指して-  
(平成30年度実施)

平成31年3月

香 川 大 学

# 目 次

## 第1章 卒業生等による大学教育評価アンケート調査の概要

### <卒業生によるアンケート調査>

1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 調査実施期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 調査対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
4. 調査内容・方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

### <企業等アンケート調査>

1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 調査実施期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 調査対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
4. 調査内容・方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

### <調査資料>

1. 平成28年度実施香川大学卒業生及び企業等アンケート用紙・・・ 2

## 第2章 調査結果について

### <卒業生によるアンケート調査>

1. 全学的な視点からの分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
  
2. 学部に関する分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
  - 教育学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
  - 法学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
  - 経済学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
  - 医学部医学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
    - 看護学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
  - 創造工学部（工学部）・・・・・・・・・・・・ 51
  - 農学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

### <企業等アンケート調査>

1. 全学的な視点からの分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57

## 第1章 卒業生等による大学教育評価アンケート調査の概要

### <卒業生によるアンケート調査>

1. 調査の目的 本学が提供する大学教育の成果・効果を明らかにし、本学に対する要望を把握することにより、教育の改善に資することを目的とする。
2. 調査実施期間 平成30年8月11日 平成30年11月30日（金）  
※Web 締め切り：11月30日までの回答。（11月30日が金曜日であったため、実際 Web の回答を停止したのは12月3日の月曜日。）  
※郵便締め切り：12月4日到着分まで受け付けた。
3. 調査対象 本学卒業後3年目（H27）及び4年目（H26）の卒業生2,467人  
回答数は315人、回収率12.8%
4. 調査内容・方法 アンケート調査の質問項目は、平成28年度から隔年で実施している「卒業生及び卒業生の就職先企業等に対するアンケート調査」の質問項目と同様のものである。  
アンケート調査は、学務グループが中心となり、卒業生の在学中の保証人住所へアンケートに回答してもらうように文書で依頼した。回答方法は、Web による回答と郵送による回答を実施した。  
Web による回答については、Google フォームを使用し、短縮した Web サイトの URL と QR コードを依頼文書に記載した。

### <企業等アンケート調査>

1. 調査の目的 本学が提供する大学教育の成果・効果を明らかにし、本学に対する要望を把握することで、教育の改善に資することを目的とする。
2. 調査実施期間 平成30年9月28日（金）～平成30年11月30日（金）
3. 調査対象 平成26年度～27年度に卒業した学生の就職先（卒業時に学生から申し出があった就職先）1,093機関  
回答数は317機関、回収率は29.0%
4. 調査内容・方法 アンケート調査の質問項目は、平成28年度から隔年で実施している「卒業生及び卒業生の就職先企業等に対するアンケート調査」の質問項目と同様のものである。  
また、アンケート調査は学生の就職先の住所宛にアンケートに回答してもらうように文書で依頼した。アンケート様式は Google フォームで作成し、その URL を知らせて、Web で回答してもらうこととし、セキュリティ等でアクセスできない場合は、FAX 等で回答してもらった。

平成 30 年度実施 香川大学卒業生調査【教育学部（学校教育教員養成課程卒業生用）用】

I. あなた自身についてお尋ねします。

問 1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問 2. あなたの性別をお答えください。

1. 男 2. 女

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問 3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問 4 へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) →問 4 へお進みください。  
 3. 働いていない →問 6 へお進みください。

問 4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係 2. 建設・機械関係 3. 食品・化学関係 4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係 6. 販売・サービス関係 7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係 9. 公務員 (国・地方自治体) 10. 教育関係 11. その他

問 5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している 2. ある程度満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

問 6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期: )  
 (理由: )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 (理由: )  
 3. ない

III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。

問 7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まな かった
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1

問8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

--

V. 専門教育についてお尋ねします。

問 9. あなたは以下の専門科目について、どの程度満足していましたか。また現在の仕事の中でどの程度役立っていますか。それぞれお答えください。

	専門科目に				現在の仕事に			
	満足 だった	ある程度 満足 だった	やや不満 だった	不満 だった	役立って いる	ある程度 役立って いる	あまり 役立って いない	役立って いない
学校教育基礎研究(課程共通) 教職の意義や児童生徒の発達理解等	4	3	2	1	4	3	2	1
学校教育実践研究 教科研究, 学生生活研究や教育実習等	4	3	2	1	4	3	2	1
学校教育発展研究 専門領域選択科目や卒業研究等	4	3	2	1	4	3	2	1

問 10. あなたが在学中もっと勉強しておけば良かったと思う専門科目はどれですか。以下の中から当てはまるもの全てに○をつけてください。

学校教育基礎研究(課程共通)

1. 教職概論
2. 教育原論
3. 学校教育心理学・児童心理学等
4. 教育社会学・教育統計学
5. 学校教育課程論・教育の方法と技術

学校教育実践研究

1. 教科研究 (学校基礎・教科教育コースは初等教科科目と初等教科教育法、幼児教育コースは幼・初等教科科目と保育内容の指導法、特別支援教育コースは特別支援教育に関する科目)
2. 学校生活研究 (道徳教育論・特別活動論・生徒指導論・学校教育相談学)
3. 教育実地研究 (教育実習・教育実践演習・教職実践演習等)

学校教育発展研究

1. 各専門領域選択科目
2. 自由科目
3. 卒業研究

問 11. 学部開設科目でもっと勉強すべきだったと思う科目を最大で3つまで挙げてください。

( ) ( ) ( )

問 12. 在学中に勉強した専門科目で、現在役立っていると実感している科目を最大で3つまで挙げてください。

( ) ( ) ( )

問 13. 教育学部に在学中、以下の事柄についてどの程度満足していましたか。

	満足していた	ある程度満足していた	やや不満だった	不満だった
教員の教授方法	4	3	2	1
教育実習など現場実習の充実	4	3	2	1
少人数によるゼミ形式の授業	4	3	2	1
勉学や進路等の相談で教員と接する機会	4	3	2	1
講義室の学習環境	4	3	2	1
自学自習のための施設	4	3	2	1

問 14. 総合的にみて、教育学部で学んだことについて満足していますか。また、その理由をお書きください。

4. 満足している    3. ある程度満足している    2. あまり満足していない    1. 満足していない

理由： [  ]

問 15. 教育学部のカリキュラム等について、自由にご意見をお書きください。

(良かった点、不満だった点、引き続き維持すべき点、改善すべき点や、教育学部がもっと重視したほうが良いと思う教育内容や取り組み、新たに設けるべき授業科目、要望など)

ご協力大変ありがとうございました。

平成 30 年度実施 香川大学卒業生調査【教育学部（人間発達環境課程卒業生用）用】

**I. あなた自身についてお尋ねします。**

問 1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問 2. あなたの性別をお答えください。

1. 男            2. 女

**II. 現在の勤務先についてお尋ねします。**

問 3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問 4 へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) →問 4 へお進みください。  
 3. 働いていない →問 6 へお進みください。

問 4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係    2. 建設・機械関係    3. 食品・化学関係    4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係    6. 販売・サービス関係    7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係    9. 公務員 (国・地方自治体)    10. 教育関係    11. その他

問 5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している    2. ある程度満足している    3. あまり満足していない    4. 満足していない

問 6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期: )  
 (理由: )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 (理由: )  
 3. ない

**III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。**

問 7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1



問8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
幅広い知識や教養	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探究能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

V. 専門教育についてお尋ねします。

問 9. あなたは以下の専門科目について、どの程度満足していましたか。また現在の仕事の中でどの程度役立っていますか。それぞれお答えください。

	専門科目に				現在の仕事に			
	満足 だった	ある程度 満足 だった	やや不満 だった	不満 だった	役立って いる	ある程度 役立って いる	あまり 役立って いない	役立って いない
基礎研究 発達と環境(課程共通)や基礎科目	4	3	2	1	4	3	2	1
実践研究 各コースの実践研究 I・II (インターンシップ)	4	3	2	1	4	3	2	1
発展研究 各コースの選択科目・特別演習・卒業研究	4	3	2	1	4	3	2	1

問 10. あなたが在学中もっと勉強しておけば良かったと思う専門科目はどれですか。以下の中から当てはまるもの全てに○をつけてください。

基礎研究

1. 発達と環境 (課程共通: 生涯発達心理学、コミュニケーション論、人間環境学 I・II、国際社会論、多文化共生論)
2. 基礎科目 (発達臨床の基礎、人間環境教育の基礎、国際理解教育の基礎)

実践研究

1. 各コースの実践研究 I・II (インターンシップ)

発展研究

1. 各コースの選択科目
2. 特別演習(ゼミ)
3. 自由科目
4. 卒業研究

問 11. 学部開設科目でもっと勉強すべきだったと思う科目を最大で3つまで挙げてください。

( ) ( ) ( )

問 12. 在学中に勉強した専門科目で、現在役立っていると実感している科目を最大で3つまで挙げてください。

( ) ( ) ( )

問 13. 教育学部に在学中、以下の事柄についてどの程度満足していましたか。

	満足していた	ある程度満足していた	やや不満だった	不満だった
教員の教授方法	4	3	2	1
教育実習など現場実習の充実	4	3	2	1
少人数によるゼミ形式の授業	4	3	2	1
勉学や進路等の相談で教員と接する機会	4	3	2	1
講義室の学習環境	4	3	2	1
自学自習のための施設	4	3	2	1

問 14. 総合的にみて、教育学部で学んだことについて満足していますか。また、その理由をお書きください。

4. 満足している 3. ある程度満足している 2. あまり満足していない 1. 満足していない

理由： [ ]

問 15. 教育学部のカリキュラム等について、自由にご意見をお書きください。

(良かった点、不満だった点、引き続き維持すべき点、改善すべき点や、教育学部がもっと重視したほうが良いと思う教育内容や取り組み、新たに設けるべき授業科目、要望など)

ご協力大変ありがとうございました。

平成 30 年度実施 香川大学卒業生調査【法学部】

**I. あなた自身についてお尋ねします。**

問 1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問 2. あなたの性別をお答えください。

1. 男            2. 女

**II. 現在の勤務先についてお尋ねします。**

問 3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問 4 へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) →問 4 へお進みください。  
 3. 働いていない →問 6 へお進みください。

問 4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係    2. 建設・機械関係    3. 食品・化学関係    4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係    6. 販売・サービス関係    7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係    9. 公務員 (国・地方自治体)    10. 教育関係    11. その他

問 5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している    2. ある程度満足している    3. あまり満足していない    4. 満足していない

問 6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期: )  
 (理由: )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 (理由: )  
 3. ない

**III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。**

問 7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1

問8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
幅広い知識や教養	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探究能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

### V. 専門教育についてお尋ねします。

問9. 法学部に在学中、以下の事柄について、どの程度満足していましたか。

	満足していた	ある程度満足していた	やや不満だった	不満だった
法学部教員の授業への取組み（熱意など）	4	3	2	1
法学部教員の教授方法	4	3	2	1
授業の内容	4	3	2	1
少人数によるゼミ形式の授業（演習など）	4	3	2	1
法学部のカリキュラム全体について	4	3	2	1
勉学や進路等の相談で法学部教員と接する機会	4	3	2	1
法学部講義室の学習環境	4	3	2	1
法学部資料室の施設（蔵書、情報機器等）	4	3	2	1

問10. 以下に示すさまざまな能力は、法学部の専門教育を通じてどの程度身につきましたか。

	身についた	ある程度身についた	あまり身についていない	身についていない
法律・法学に関する知識	4	3	2	1
政治・政治学に関する知識	4	3	2	1
経済活動に関する知識や関心	4	3	2	1
社会一般に関する知識や関心	4	3	2	1
現代社会への自分なりの視点	4	3	2	1
歴史的視点	4	3	2	1
幅広い視野	4	3	2	1
国際的視野	4	3	2	1
情報を収集・処理する力	4	3	2	1
問題を発見し解決する力	4	3	2	1
論理的に考える力	4	3	2	1
法的なものの考え方（リーガルマインド）	4	3	2	1
人前で報告する技能	4	3	2	1
他社と意見を交わす技能	4	3	2	1
論点を整理し、議論をまとめる技能	4	3	2	1
文書等を作成する技能	4	3	2	1
自主的に学び続ける力	4	3	2	1

問 1 1. 問 1 0 に列挙した能力は、仕事を進める上でどの程度必要とされますか。また、社会生活全般では  
 どうか。それぞれお答えください。

	仕事を進める上で				社会生活全般で			
	必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない	必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない
法律・法学に関する知識	4	3	2	1	4	3	2	1
政治・政治学に関する知識	4	3	2	1	4	3	2	1
経済活動に関する知識や関心	4	3	2	1	4	3	2	1
社会一般に関する知識や関心	4	3	2	1	4	3	2	1
現代社会への自分なりの視点	4	3	2	1	4	3	2	1
歴史的視点	4	3	2	1	4	3	2	1
幅広い視野	4	3	2	1	4	3	2	1
国際的視野	4	3	2	1	4	3	2	1
情報を収集・処理する力	4	3	2	1	4	3	2	1
問題を発見し解決する力	4	3	2	1	4	3	2	1
論理的に考える力	4	3	2	1	4	3	2	1
法的なものの考え方（リグ・ルマイト）	4	3	2	1	4	3	2	1
人前で報告する技能	4	3	2	1	4	3	2	1
他社と意見を交わす技能	4	3	2	1	4	3	2	1
論点を整理し、議論をまとめる技能	4	3	2	1	4	3	2	1
文書等を作成する技能	4	3	2	1	4	3	2	1
自主的に学び続ける力	4	3	2	1	4	3	2	1

問 1 2. 以下に示すような法学部の各開講科目群、及び、より一般的に「法学部で学んだ」という経験は、  
 これまでの職業生活に役立っていますか。また、社会生活全般ではどうか。それぞれお答えください。

	これまでの職業生活に				社会生活全般に			
	役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	役立っていない
法学基礎（1年次前期科目）	4	3	2	1	4	3	2	1
プロゼミ（2年次科目）	4	3	2	1	4	3	2	1
演習（3年～4年次必修科目）	4	3	2	1	4	3	2	1
基礎法系科目（法制史、法哲学、法社会学等）	4	3	2	1	4	3	2	1
公法系科目（憲法、行政法、税法等）	4	3	2	1	4	3	2	1
民事法系科目（民法、商法、民事訴訟法等）	4	3	2	1	4	3	2	1
刑事法系科目（刑法、刑事訴訟法等）	4	3	2	1	4	3	2	1
社会法系科目（労働法、社会保障法等）	4	3	2	1	4	3	2	1
経済法系科目（経済法、経済政策と法等）	4	3	2	1	4	3	2	1
政治系科目（政治過程論、公共選択論、行政学等）	4	3	2	1	4	3	2	1
国際系科目（国際法、国際私法、国際関係論等）	4	3	2	1	4	3	2	1
実務家による科目（損害保険の実務と法等）	4	3	2	1	4	3	2	1
「法学部で学んだ」という経験	4	3	2	1	4	3	2	1

問 1 3. 受講して有益だったと考える法学部開講科目を最大 3 つまで挙げてください。

( ) ( ) ( )

問 1 4. 在学中にもっと学んでおくべきであったと考える授業科目ないし学問分野を最大 3 つまで挙げて  
 ください（法学部の開講科目や法学・政治学等の学問分野に限定する必要は必ずしもありません）。

( ) ( ) ( )

問 1 5. 総合的にみて、法学部で学んだことについての満足度はどうか。

4. 満足している 3. ある程度満足している 2. やや不満だった 1. 不満だった

ご協力大変ありがとうございました。

平成 30 年度実施 香川大学卒業生調査【経済学部用】

**I. あなた自身についてお尋ねします。**

問 1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問 2. あなたの性別をお答えください。

1. 男            2. 女

**II. 現在の勤務先についてお尋ねします。**

問 3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問 4 へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) →問 4 へお進みください。  
 3. 働いていない →問 6 へお進みください。

問 4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係    2. 建設・機械関係    3. 食品・化学関係    4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係    6. 販売・サービス関係    7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係    9. 公務員 (国・地方自治体)    10. 教育関係    11. その他

問 5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している    2. ある程度満足している    3. あまり満足していない    4. 満足していない

問 6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期: )  
 (理由: )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 (理由: )  
 3. ない

**III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。**

問 7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1



問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
幅広い知識や教養	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探究能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

### V. 専門教育についてお尋ねします。

問9. 以下に示すさまざまな知識や能力は、経済学部の専門教育課程を通じて、どの程度、身につきましたか。また、それらは、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
経済についての知識	4	3	2	1	2	1
統計についての知識	4	3	2	1	2	1
金融についての知識	4	3	2	1	2	1
会計についての知識	4	3	2	1	2	1
経営についての知識	4	3	2	1	2	1
商学・マーケティングについての知識	4	3	2	1	2	1
観光についての知識	4	3	2	1	2	1
地域の活性化についての知識	4	3	2	1	2	1
世界各地域の経済についての知識	4	3	2	1	2	1
人類の文化および社会についての幅広い知識	4	3	2	1	2	1
定量的なデータを適切な手法を用いて分析する能力	4	3	2	1	2	1
定性的なデータを適切な手法を用いて分析する能力	4	3	2	1	2	1
複眼的な思考力	4	3	2	1	2	1
チャレンジ精神や行動力	4	3	2	1	2	1
コミュニケーション力	4	3	2	1	2	1
課題探究・解決力	4	3	2	1	2	1

問10. 以下に示す活動を通して身につけた知識や能力、経験は、これまでの職業経験の中で、どの程度、役立っていますか。

	役立っている	どちらかといえば役立っている	どちらかといえば役立っていない	役立っていない
演習・個別演習	4	3	2	1
卒業論文の執筆	4	3	2	1
学生チャレンジ・プロジェクト (参加者のみ回答)	4	3	2	1
専門履修プログラム (参加者のみ回答)	4	3	2	1
実践型/地域インターンシップ (参加者のみ回答)	4	3	2	1
海外研修・留学 (参加者のみ回答)	4	3	2	1

問11. 数年間の社会人生活を経た現在の立場から、大学時代にもっと勉強しておけばよかったと思う分野や科目があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

平成 30 年度実施 香川大学卒業生調査【医学部（医学科）用】

**I. あなた自身についてお尋ねします。**

問 1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問 2. あなたの性別をお答えください。

1. 男            2. 女

**II. 現在の勤務先についてお尋ねします。**

問 3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問 4 へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) →問 4 へお進みください。  
 3. 働いていない →問 6 へお進みください。

問 4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係    2. 建設・機械関係    3. 食品・化学関係    4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係    6. 販売・サービス関係    7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係    9. 公務員 (国・地方自治体)    10. 教育関係    11. その他

問 5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している    2. ある程度満足している    3. あまり満足していない    4. 満足していない

問 6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期: )  
 (理由: )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 (理由: )  
 3. ない

**III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。**

問 7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1

問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
幅広い知識や教養	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探究能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

**V. あなた自身についてお尋ねします。**

問9. あなたの大学入学時の自宅所在地（都道府県名）と、現在の自宅所在地（都道府県名）をお答えください。

入学時：( ) 都・道・府・県 現在：( ) 都・道・府・県

問10. 現在のあなたの職種・就業状況は次のどれですか。（複数該当する場合は、主要なもの一つに○をつけて下さい。）

1. 臨床医（勤務医）      2. 臨床医（開業医）      3. 研修医（前期・後期）      4. 教育・研究職（大学等の助教以上）  
 5. 非常勤医      6. 大学院生      7. 無職      8. その他（ ）

問11. と問12. は、問10. で、1～6 と回答した方にお聞きます。

問11. 現在所属している講座または診療科は次のどれですか。

研修医の方は、将来志望する科をお答え下さい。

1. 基礎医学系      2. 内科系      3. 外科系      4. 社会医学系      5. その他（ ）

問12. 現在の勤務場所は次のどれですか。

1. 大学を含む教育機関（大学附属病院を含む）      2. 病院      3. 診療所      4. 福祉施設      5. その他（ ）

**VI. 在学当時の学習や活動についてお尋ねします。**

問13. あなたは以下の項目についてどの程度満足していましたか。

医学部の教育について	4. 満足だった				3. ある程度満足だった				2. やや不満だった				1. 不満だった							
	シラバスの充実度（教育内容や評価法などが適切に記載されていたか）				教育法（講義・実習の内容が適切に行われたか）				学習法（授業ガイダンスなど科目ごとに学習法についての説明が当該科目の教員からあったか）				カリキュラム（講義や実習の進度、スケジュールやボリュームが適切であったか）				評価法（出席・レポート・試験等）が適切で、シラバスに記載された通りに行われたか）			
教養科目	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
基礎医学系科目	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
社会医学系科目	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
臨床医学系科目	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
外国語科目	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
医学部での学習・生活支援																				
					満足だった				ある程度満足だった				やや不満だった				不満だった			
授業以外で教員と接する機会					4				3				2				1			
指導教員制度					4				3				2				1			
図書館の施設や蔵書					4				3				2				1			
情報処理関係施設や機器					4				3				2				1			
学生の交流スペース					4				3				2				1			
クラブ・サークル関係施設・設備等					4				3				2				1			
自習室					4				3				2				1			

問14. 以下に示すさまざまな能力は大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、現在の仕事の中でどの程度必要とされていますか。それぞれお答えください。

	大学教育で				現在の仕事で			
	身についた	ある程度身についた	あまり身についていない	身についていない	必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない
医学の基礎知識	4	3	2	1	4	3	2	1
医学の基本的技術	4	3	2	1	4	3	2	1
科学的分析力と探究能力	4	3	2	1	4	3	2	1
医学の視点から、問題を総合的に分析・判断・解決する能力	4	3	2	1	4	3	2	1
自己の実践を批判的に分析し、創造的に発展させる能力	4	3	2	1	4	3	2	1
患者・家族と人間関係を形成する能力	4	3	2	1	4	3	2	1
医療職者間で協働・連携する能力	4	3	2	1	4	3	2	1
人間の尊厳・人権を尊重する態度の形成	4	3	2	1	4	3	2	1
医療人に求められるモラルや礼儀、社会的責任	4	3	2	1	4	3	2	1
専門職業人として生涯自己研鑽する能力	4	3	2	1	4	3	2	1

問15.

国家資格の取得に必要な教育が行われていましたか。	行われていた 4	ある程度行われていた 3	あまり行われていなかった 2	行われていない 1
--------------------------	-------------	-----------------	-------------------	--------------

問16. 国家資格の取得に必要な教育・指導体制として、大学が今後取り入れたら良いと思う事柄について、ご記入下さい。

--

問17.

総合的にみて、本学医学部で学んだことについての満足度はどうですか。	満足している 4	ある程度満足している 3	やや不満だった 2	不満だった 1
-----------------------------------	-------------	-----------------	--------------	------------

ご協力大変ありがとうございました。

平成 30 年度実施 香川大学卒業生調査【医学部（看護学科）用】

I. あなた自身についてお尋ねします。

問 1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問 2. あなたの性別をお答えください。

1. 男          2. 女

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問 3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問 4 へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) →問 4 へお進みください。  
 3. 働いていない →問 6 へお進みください。

問 4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係    2. 建設・機械関係    3. 食品・化学関係    4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係    6. 販売・サービス関係    7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係    9. 公務員 (国・地方自治体)    10. 教育関係    11. その他

問 5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している    2. ある程度満足している    3. あまり満足していない    4. 満足していない

問 6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期： )  
 (理由： )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 (理由： )  
 3. ない

III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。

問 7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1



問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
幅広い知識や教養	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探究能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

**V. あなた自身についてお尋ねします。**

問9. あなたの大学入学時の自宅所在地（都道府県名）と、現在の自宅所在地（都道府県名）をお答えください。

入学時：( ) 都・道・府・県

現在：( ) 都・道・府・県

問10. 現在のあなたの職種は次のどれですか。

1. 看護師                  2. 保健師                  3. 助産師                  4. 養護教諭                  5. 看護教員  
6. 大学院生                  7. 無職                  8. その他 ( )

問11. 現在の勤務場所は次のどれですか。

1. 大学を含む看護師教育機関                  2. 大学附属病院                  3. 病院  
4. 診療所                  5. 福祉施設                  6. 地方公共団体（保健所を含む）  
7. 小・中・高校                  8. その他 ( )

問12. 現在の就業状況についてお答えください。（無職の方を除く）

1. 正規雇用で働いている  
2. 非正規雇用で働いている（非常勤職員、パート等を含む）

**VI. 在学当時の学習や活動についてお尋ねします。**

問13. あなたは以下の項目についてどの程度満足していましたか。

	満足だった	ある程度満足だった	やや不満だった	不満だった
<b>大学教育</b>				
専門基礎科目全般（解剖学・生理学・微生物学・薬剤療養学・栄養学・基礎保健学・疫学など）	4	3	2	1
専門科目全般（臨地実習を除く）	4	3	2	1
臨地実習科目全般	4	3	2	1
<b>学習・生活支援</b>				
授業以外で教員と接する機会	4	3	2	1
指導教員制度	4	3	2	1
図書館の施設や蔵書	4	3	2	1
情報処理関係施設や機器	4	3	2	1
学生の交流スペース	4	3	2	1
クラブ・サークル関係施設・設備等	4	3	2	1
自習室	4	3	2	1

問14. 以下に示すさまざまな能力は大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、現在の仕事の中でどの程度必要とされていますか。  
(専門教育全般)

	大学教育で				現在の仕事で			
	身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない	必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない
看護学の基礎知識	4	3	2	1	4	3	2	1
看護学の基本的技術	4	3	2	1	4	3	2	1
科学的分析力と探究能力	4	3	2	1	4	3	2	1
看護の視点から問題を総合的に分析・判断・解決する能力	4	3	2	1	4	3	2	1
自己の実践を批判的に分析し、創造的に発展させる能力	4	3	2	1	4	3	2	1
患者・家族と人間関係を形成する能力	4	3	2	1	4	3	2	1
医療職者間で協働・連携する能力	4	3	2	1	4	3	2	1
人間の尊厳・人権を尊重する態度の形成	4	3	2	1	4	3	2	1
医療人に求められるモラルや礼儀	4	3	2	1	4	3	2	1
専門職業人として生涯自己研鑽する能力	4	3	2	1	4	3	2	1

問15.

国家資格の取得に必要な教育が行われていましたか。	行われていた 4	ある程度行われていた 3	あまり行われていなかった 2	行われていない 1
--------------------------	-------------	-----------------	-------------------	--------------

問16. 国家資格の取得に必要な教育・指導体制として、大学が今後取り入れたら良いと思う事柄について、ご記入下さい。

--

問17.

総合的にみて、本学医学部で学んだことについての満足度はどうですか。	満足している 4	ある程度満足している 3	やや不満だった 2	不満だった 1
-----------------------------------	-------------	-----------------	--------------	------------

ご協力大変ありがとうございました。

## 平成 30 年度実施 香川大学卒業生調査【工学部用】

I. あなた自身についてお尋ねします。

問 1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問 2. あなたの性別をお答えください。

1. 男 2. 女

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問 3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている → 問 4 へお進みください。
2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) → 問 4 へお進みください。
3. 働いていない → 問 6 へお進みください。

問 4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係
2. 建設・機械関係
3. 食品・化学関係
4. 情報・通信関係
5. 商社・金融関係
6. 販売・サービス関係
7. マスコミ・出版関係
8. 保健・衛生・医療関係
9. 公務員 (国・地方自治体)
10. 教育関係
11. その他

問 5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問 6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期: )  
(理由: )
2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
(理由: )
3. ない

III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。

問 7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1

問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
幅広い知識や教養	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探究能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

### V. 専門教育についてお尋ねします。

問9. 以下に示すさまざまな能力や知識等については、香川大学工学部の専門教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかと言えば身についた	どちらかと言えば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>言語運用能力</b>						
論理的かつ客観的な文書を作成することができる力	4	3	2	1	2	1
多様な情報を適切に利用し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる力	4	3	2	1	2	1
工学的な課題について、基礎的な数理法則を用いて分析することができる力	4	3	2	1	2	1
英語による情報収集能力、コミュニケーション能力	4	3	2	1	2	1
国際的視野を持ち、世界標準の科学技術に関する情報を収集できる力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
自然科学の基礎知識およびその基本原理の理解	4	3	2	1	2	1
工学的課題を解決するために必要な工学的基礎知識	4	3	2	1	2	1
人間、社会、環境についての多角的な視点	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探求能力</b>						
自主的、継続的に学習し、新たな課題を探求することができる力	4	3	2	1	2	1
専門分野において課題を認識し、その解決に向けて企画、立案し、遂行することができる力	4	3	2	1	2	1
多様な制約の下で、専門知識、技術を用いて、必要に応じ他者と協力して問題を解決することができる力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
市民としての社会的責任を自覚して行動することができる力	4	3	2	1	2	1
工学倫理に則って、技術者としての社会的役割を担うことができる力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解</b>						
地域の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて問題を発見し、探求することができる力	4	3	2	1	2	1

- 問10. 工学部のカリキュラムについて自由にご意見をお書き下さい。  
(工学部がもっと重視したほうが良いと思う教育内容や取り組みなど)



ご協力大変ありがとうございました。

平成 30 年度実施 香川大学卒業生調査【農学部用】

I. あなた自身についてお尋ねします。

問 1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問 2. あなたの性別をお答えください。

1. 男            2. 女

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問 3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問 4 へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) →問 4 へお進みください。  
 3. 働いていない →問 6 へお進みください。

問 4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係    2. 建設・機械関係    3. 食品・化学関係    4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係    6. 販売・サービス関係    7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係    9. 公務員 (国・地方自治体)    10. 教育関係    11. その他

問 5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している    2. ある程度満足している    3. あまり満足していない    4. 満足していない

問 6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期: )  
 (理由: )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 (理由: )  
 3. ない

III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。

問 7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1



問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
幅広い知識や教養	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探究能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

V. 農学部での専門教育についてお尋ねします。

問9. あなたは在学中に以下の項目にどの程度充実（満足）していましたか。

	充実していた	ある程度充実していた	やや充実していなかった	充実していなかった
<b>専門教育</b>				
導入ならびに共通基礎科目	4	3	2	1
コース専門科目	4	3	2	1
共通展開科目	4	3	2	1
コース実験またはフィールド実習	4	3	2	1
課題研究	4	3	2	1
インターンシップ（該当者のみ）	4	3	2	1
<b>学習・生活支援</b>				
農学部教員との交流	4	3	2	1
農学部における友人との交流	4	3	2	1
農学部における学生相談窓口	4	3	2	1

問10. 以下に示す農学部での学習や経験は、これまでの職業生活に役立っていますか。  
また、社会生活全般に役立っていますか。それぞれお答え下さい。

	これまでの職業生活に				社会生活全般に			
	役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	役立っていない
<b>専門教育</b>								
導入ならびに共通基礎科目	4	3	2	1	4	3	2	1
コース専門科目	4	3	2	1	4	3	2	1
共通展開科目	4	3	2	1	4	3	2	1
コース実験またはフィールド実習	4	3	2	1	4	3	2	1
課題研究	4	3	2	1	4	3	2	1
インターンシップ（該当者のみ）	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>学生生活</b>								
研究室での活動	4	3	2	1	4	3	2	1
就職活動	4	3	2	1	4	3	2	1
友人との交流	4	3	2	1	4	3	2	1

問11. 受講して有益だったと考える農学部開講科目を最大三つまで挙げてください。

( )

( )

( )

問12. 総合的にみて、農学部で学んだことについての満足度はどうですか。

4. 満足している
3. ある程度満足している
2. やや不満だった
1. 不満だった

問13. 農学部の授業やカリキュラムについて自由にご意見をお書き下さい。

ご協力大変ありがとうございました。

## 香川大学卒業生に対するアンケート調査（企業・官庁等用）

問1. 貴組織の事業（主たるもの）についてお答えください。

- |              |               |                 |
|--------------|---------------|-----------------|
| 1. 農林・水産関係   | 2. 建設・機械関係    | 3. 食品・化学関係      |
| 4. 情報・通信関係   | 5. 商社・金融関係    | 6. 販売・サービス関係    |
| 7. マスコミ・出版関係 | 8. 保健・衛生・医療関係 | 9. 公務員（国・地方自治体） |
| 10. 教育関係     | 11. その他（      | ）               |

問2. 貴組織の従業員数についてお答えください。

- |                 |              |               |
|-----------------|--------------|---------------|
| 1. 10人未満        | 2. 10～100人未満 | 3. 100～500人未満 |
| 4. 500～1,000人未満 | 5. 1,000人以上  |               |

問3. 貴組織における直近4カ年の香川大学卒業生の採用数について、概数をお答えください。

- |         |           |            |          |
|---------|-----------|------------|----------|
| 1. 3人未満 | 2. 3～5人未満 | 3. 5～10人未満 | 4. 10人以上 |
|---------|-----------|------------|----------|

問4. 貴組織における直近4カ年の香川大学卒業生に対する満足度をお答えください。

- |       |           |         |       |
|-------|-----------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. ある程度満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|-----------|---------|-------|

問5. 香川大学卒業生は、現在担当している職務を遂行する上で必要とされる以下のような能力をどの程度身につけていますか（必要とされない能力は「必要とされない」をお選びください）。

	身につけている	どちらかといえば身につけている	どちらかといえば身につけていない	身につけていない	必要とされない
論述作文能力・コミュニケーション能力					
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	0
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	0
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	0
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	0
情報リテラシー・数量的スキル					
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	0
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	0

	身につけて いる	どちらかとい えば身につ けている	どちらかとい えば身につ けていない	身につけて いない	必要と されない
<b>知識・理解</b>					
幅広い知識や教養	4	3	2	1	0
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	0
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	0
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	0
<b>問題解決・課題探究能力</b>					
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	0
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	0
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	0
<b>倫理観・社会的責任</b>					
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	0
社会のルールを守る力	4	3	2	1	0
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	0
<b>地域理解</b>					
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	0
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	0
多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	0
<b>自己教育の態度</b>					
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	0
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	0

問6. 香川大学に対するご意見やご要望等がございましたら、自由にお書きください。

## 第2章 調査結果について

### <卒業生によるアンケート調査>

#### 1. 全学に関する分析

##### (1) 分析結果

###### ①労働状況（問3、問5）・・・表1、表2参照

30年度と28年度ともに、正規雇用で働いているが85%以上で、現在の職業に満足しているが80%以上である。

###### ②在学中の取り組み（問7）・・・図1参照

「学生が行う主体的な活動」「インターンシップ」は30年度で増加しているものの、30年度と28年度ともに50%以下となっている。

###### ③大学教育を通じて身についた能力（問8-1）・・・図2、図3参照

30年度で70%以上：「日本語の論述作文能力・コミュニケーション能力」、「問題解決・課題探究能力」、「倫理観・社会的責任」、「自己教育の態度」

30年度と28年度ともに値が比較的低い：外国語の「論述作文能力・コミュニケーション能力」（40%以下）、「地域理解」（約60%）

###### ④これまでの職業経験の中で役立った能力（問8-2）・・・図4、図5参照

30年度において70%以上：日本語による「論述作文能力・コミュニケーション能力」、「問題解決・課題探究能力」、「倫理観・社会的責任」、「自己教育の態度」

30年度と28年度ともに値が比較的低い：外国語の「論述作文能力・コミュニケーション能力」（約20%）、「地域理解」（約55%）

##### (2) 優れた点及び改善を要する点

###### 【優れた点】

現在の職業に対する満足度は、前回調査時から継続して高い。また、前回調査時同様に、（日本語の）言語運用能力、問題解決・課題探究能力、倫理観・社会的責任については、大学教育で身につく、かつ、これまでの職業経験の中で役立っていると多くの卒業生が回答している。学士課程のディプロマ・ポリシー5つの構成要素のうち、3つについては卒業生から十分な評価が得られているといえる。

###### 【改善を要する点】

学生が行う主体的な活動とインターンシップの活性化は、前回調査時から継続して課題となっている。第三期中期計画にも、チャレンジ精神を刺激する機会や、地域企業・機関等でのインターンシップ経験のある学生を増やすことが明記されており、さらなる活性化が求められる。

外国語の論述作文能力・コミュニケーション能力と地域理解の育成も、前回調査時から継続して課題となっている。第二期中期計画において、それらの能力の育成は課題となり、対応策が実施されたが、当時の教育課程で学んだ卒業生を対象とした調査からは、さらなる改善が求められることが明らかとなった。

【参考資料】

	30年度	28年度	ギャップ
1. 正規雇用で働いている	86.7%	85.4%	1.3%
2. 非正規雇用で働いている	8.6%	9.2%	-0.7%
3. 働いていない	4.4%	4.5%	-0.1%

表 1. 現在の勤務先の就業形態

	30年度	28年度	ギャップ
1. 満足している	36.8%	36.0%	0.7%
2. ある程度満足している	44.4%	46.2%	-1.6%
3. あまり満足していない	10.5%	10.8%	-0.4%
4. 満足していない	3.8%	1.9%	1.9%

表 2. 現在の職業の満足度

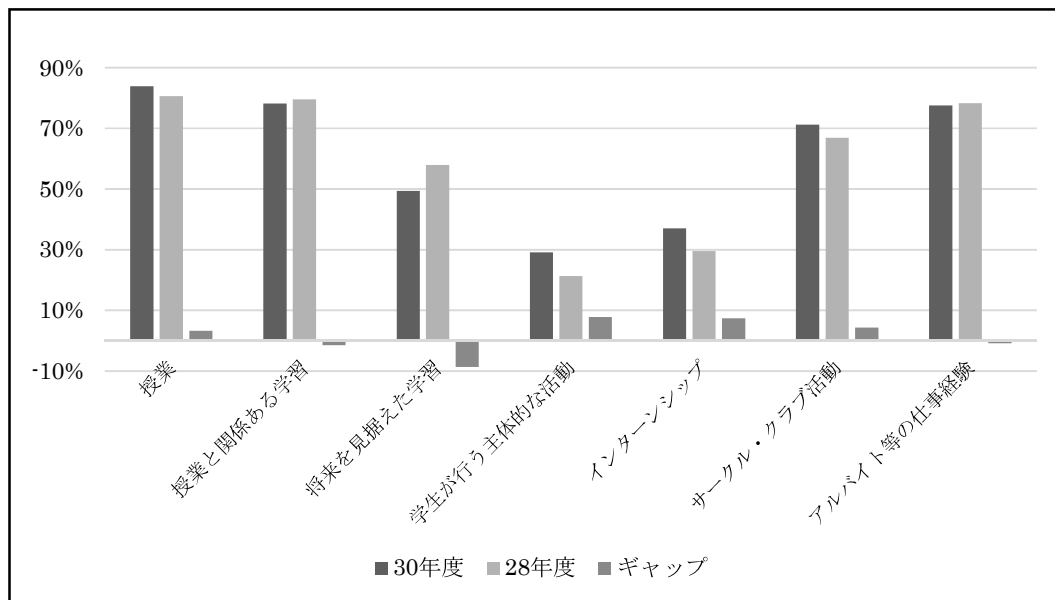


図 1. 在学中の取り組み

注 1. 図 1 の具体的な内容は、次のとおりである。授業（授業時間中）、授業と関係ある学習（予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など）、将来を見据えた学習（資格取得（国家試験を含む）に向けた学習など）、学生が行う主体的な活動（夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など）、インターンシップ（体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む）、サークル・クラブ活動、アルバイト等の仕事経験

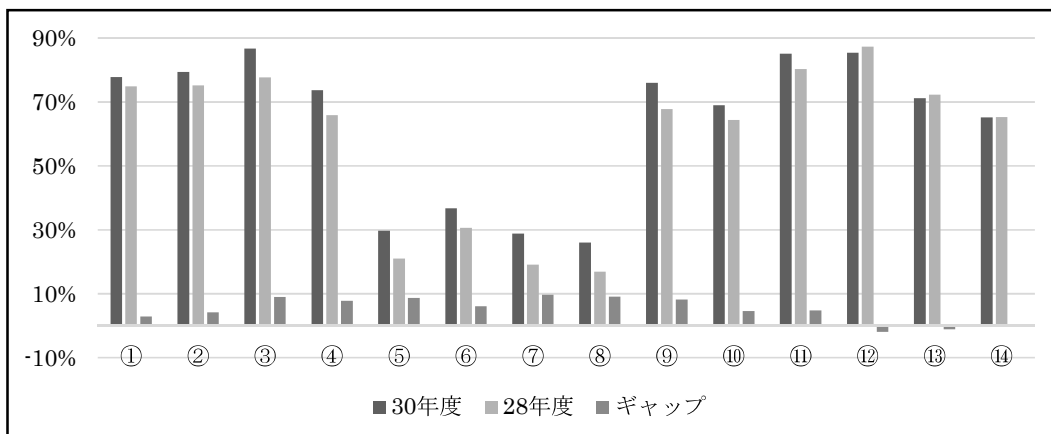


図2. 大学教育で身についた能力 (①～⑭)

注1: 図2の各番号は、次のとおり対応している。①日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力、②日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、③相手の意見を丁寧に聴く力、④日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力、⑤特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力、⑥特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、⑦特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力、⑧特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力、⑨情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力、⑩様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力、⑪幅広い知識や教養、⑫専門分野に関する基礎的な知識・理解、⑬専門分野に関する知識・理解を応用する力、⑭職業に関連する知識や技能

注2: 図2の値は「大学教育で」、「身についた」「どちらかといえば身についた」の合計値を示しており、「ギャップ」は、両年度の差である。

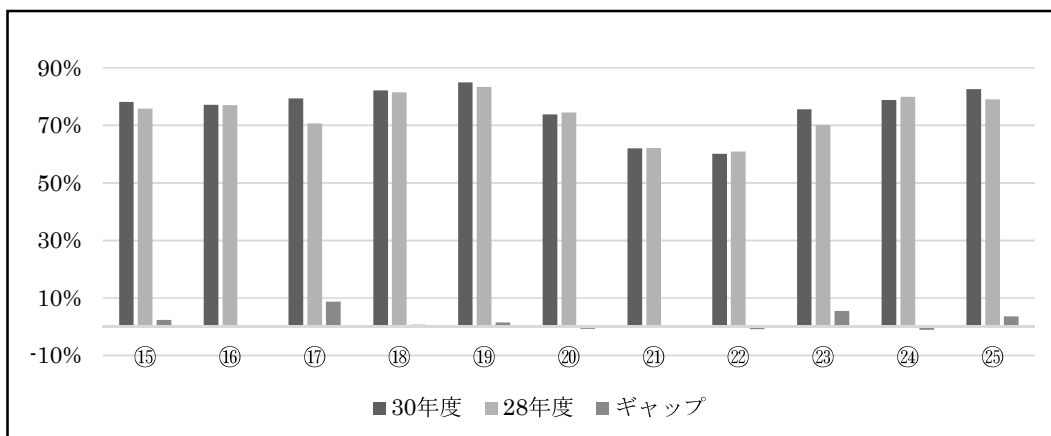


図3. 大学教育で身についた能力 (⑮～㉕)

注1: 図3の各番号は次のとおり対応している。⑮目標を設定し確実に行動する力、⑯現状を分析し目的や課題を明らかにする力、⑰課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力、⑱社会のルール・マナーについて理解する力、⑲社会のルールを守る力、⑳社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力、㉑地域に貢献したいという意識、㉒地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力、㉓多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力、㉔物事に進んで取り組む力、㉕自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力

注2: 図3の値は、「身についた」「どちらかといえば身についた」の合計値を示している。また図3の「ギャップ」は、両年度の差である。



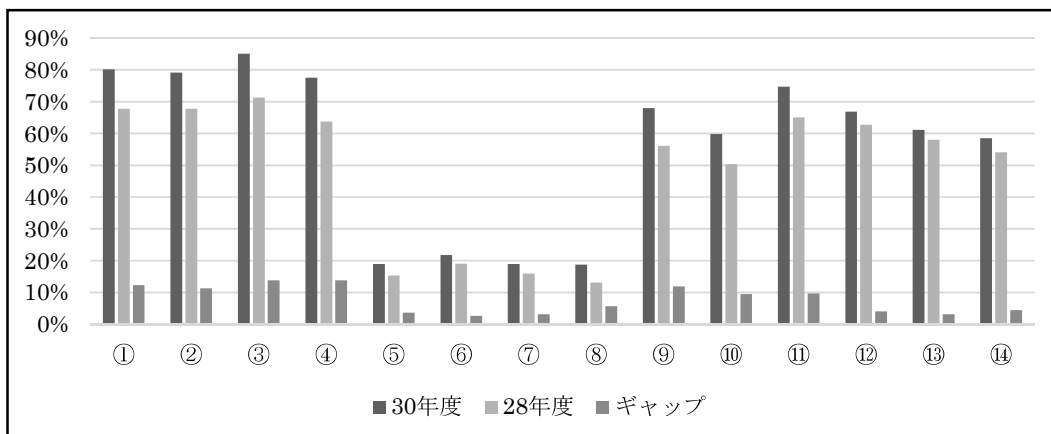


図4. これまでの職業経験の中で役立つ能力(①~⑭)

注1: 図4の各番号は次のとおり対応している。①日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力、②日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、③相手の意見を丁寧に聴く力、④日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力、⑤特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力、⑥特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、⑦特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力、⑧特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力、⑨情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力、⑩様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力、⑪幅広い知識や教養、⑫専門分野に関する基礎的な知識・理解、⑬専門分野に関する知識・理解を応用する力、⑭職業に関連する知識や技能

注2: 図4の値は、「役立っている」の値を示している。また図4の「ギャップ」は、両年度の差である。

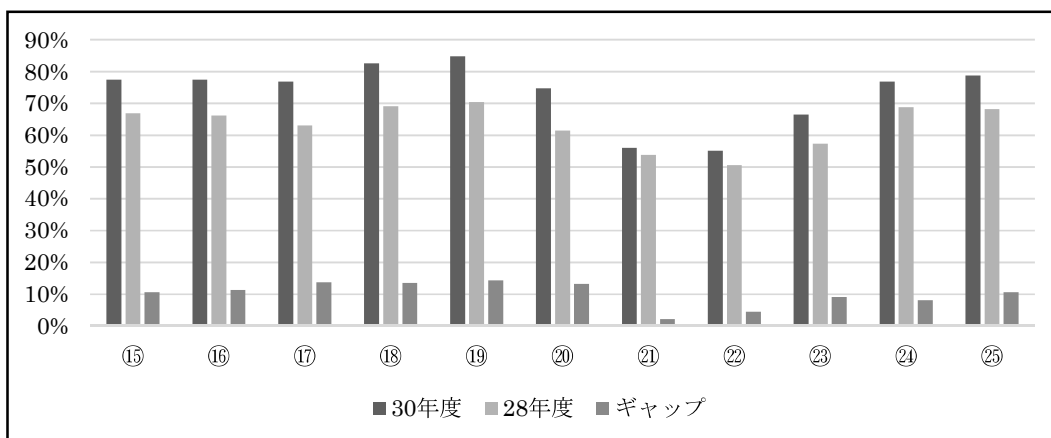


図5. これまでの職業経験の中で役立つ能力(⑮~㉕)

注1: 図5の各番号は次のとおり対応している。⑮目標を設定し確実に行動する力、⑯現状を分析し目的や課題を明らかにする力、⑰課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力、⑱社会のルール・マナーについて理解する力、⑲社会のルールを守る力、⑳社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力、㉑地域に貢献したいという意識、㉒地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力、㉓多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力、㉔物事に進んで取り組む力、㉕自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力

注2: 図5の値は、「役立っている」の値を示している。また図5の「ギャップ」は、両年度の差である。

## 2. 学部に関する分析

### 教育学部

#### 1. 学部に関する分析

##### (1) 分析結果

教育学部卒業生からの回答は 58 (学校教育教員養成課程 38, 人間発達環境課程 20 - 以後, 教員養成, 人間発達とする) である。回答数は少ないが, データから得られた考察について述べることにする。

問 3 から, 正規雇用で働いている卒業生が 91.4% と多く, 全学の 86.7% を上回っている。

問 7-1 から, 授業 (授業時間中) について, 「熱心に取り組んだ」「どちらかといえば熱心に取り組んだ」と回答したものは 50 (86.2%) であり, 全学の 83.8% を上回っている。

問 7-3 から, 将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など) について, 「熱心に取り組んだ」「どちらかといえば熱心に取り組んだ」と回答したものは 35 (60.4%) であり, 全学の 49.5% を上回っている。これは教員採用試験等への取組等が反映されたものと考えられる。

問 8 は大学教育と職業経験との関係についての設問である。様々な力のうち, 教育学部卒業生が「身についた」「どちらかといえば身についた」と回答したものが多かった設問は, まず問 8-1 「日本語を用いて, 自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力」で 84.5% (全学 77.8%) である。また, 「役立っている」は 93.1% (全学 80.0%) である。続いて問 8-3 「相手の意見を丁寧に聴く力」は 86.2% (全学 86.7%) であるが, 「役立っている」は 94.8% (全学 85.1%) である。また問 8-14 「職業に関連する知識や技能」は 68.9% (全学 65.0%) で, 「役立っている」は 70.7% (全学 58.4%) である。これは, 特に教員養成の授業科目が教育職員免許法にもとづくものであることを考えれば当然であるが, より高い数値を目指すべきであるともいえる。問 8-18 「社会のルールを守る力」は 79.3% (全学 84.8%) であるが, 「役立っている」は 91.4% (全学 84.8%) である。最後に教員として備えておきたい力である, 問 8-23 「多様な価値観を尊重し, 異なる文化を理解する力」は 82.8% (全学 75.5%) で, 「役立っている」は 82.8% (全学 66.3%) である。

##### (2) 優れた点及び改善を要する点

###### 【優れた点】

- 1) 授業について: 大学教育の根幹といえる授業について満足度が高いということがデータから読み取れる。
- 2) 教員養成について: 「香川県教育委員会と密接に結びついている」「教育関連の知識が非常に役立っている」「附属学校・園の先生が大変熱心」等, 教員養成に関わる取組について評価する記述がみられる。

### 【改善を要する点】

1) 授業内容について：自由記述から「教育学部と大学院教育学研究科との授業内容の差別化」について改善の要望がある。また、「学べる内容に偏りがある」との記述があり、「幅広い内容の授業」が求められている。関連して「基本的な事務能力（公文書，部活動指導，保護者対応）」を取り上げてほしいとの記述がある。

2) 外国語に関する能力について：論述作文能力・コミュニケーション能力のうち，外国語に関わる4能力（問8-5～問8-8）について、「身についた」「どちらかといえば身についた」は，順に27.6%（全学29.9%），22.4%（同36.5%），20.7%（同28.9%），22.4%（同26.0%），である。また，「役立っている」は順に19.0%（同19.0%），17.2%（同21.6%），17.2%（同18.7%），20.7%（同18.4%），である。外国語に関わるコミュニケーション能力を備えた教員の育成が課題である。

## 法学部

### (1) 分析結果

1) 法学部の授業やカリキュラム、学習環境等 (問 9) : 少人数教育についての評価が高く、「満足していた」「ある程度満足していた」との回答が 90%を超えていた。他方、教員と接する機会に関しては、37.5%が「不満だった」「やや不満だった」と回答している。

2) 専門教育を通じた知識・能力の修得 (問 10) : 法律・法律学に関する知識や論理的に考える力、リーガルマインド、論点を整理し、議論をまとめる技能、文書等を作成する技能は、「身についた」「どちらかといえば身についた」との回答が 90%を超える。これに対し、経済活動に関する知識や関心や歴史的視点、国際的視野については、身についたとした回答は 50~60%台にとどまっていた。

3) 必要とされる知識・能力 (問 11) : 仕事上、「必要」とした回答が特に多かったのは、文書等を作成する技能 (75.0%) や自主的に学び続ける力 (65.6%)、問題を発見し解決する力、論理的に考える力、他者と意見を交わす技能 (いずれも 62.5%) であった。また、法律・法律学に関する知識も、50.0%の回答者が「必要」としている。なお、これら知識や能力は、社会生活一般においても必要と認識されていた。

4) 専門教育の役立ち度 (問 12~14) : 職業生活においては、公法系科目や民法系科目が「役立っている」「ある程度役立っている」とする回答が多く (それぞれ 87.5%、84.4%)、これに社会法系科目が 78.2%で続く。他の分野に関しては 50~60%前後が役立っていると回答していたが、国際系科目は 34.4%と低かった。社会生活一般に関して尋ねた場合も、その割合はやや低いが、ほぼ同様の傾向が見られる。なお、少人数教育のうち演習は、職業生活においても (81.3%) 社会生活一般においても (71.9%) 役立ったとする回答が多かった。

受講して有益だった科目 (自由回答) としては、民法 (62.5%)、行政法 (31.3%)、憲法 (25.0%) が多く挙がっていた。また、もっと学んでおくべきであった科目 (自由回答) としても、民法 (34.4%) や行政法 (25.0%) を挙げた回答者が多かった。

5) 総合的な満足度 (問 15) : 90%を超える回答者が「満足している」「ある程度満足している」としており、総合的な満足度は非常に高い。

### (2) 優れた点及び改善を要する点

#### 【優れた点】

- ・ 本学部が特に力を入れている少人数教育への評価が非常に高い。
- ・ 論理的に考える力や文書等を作成する力、論点を整理し議論をまとめる力といった、職業生活や社会生活において必要と考えられている能力が、学部の専門教育を通じて身についたと考えている卒業生が多い。

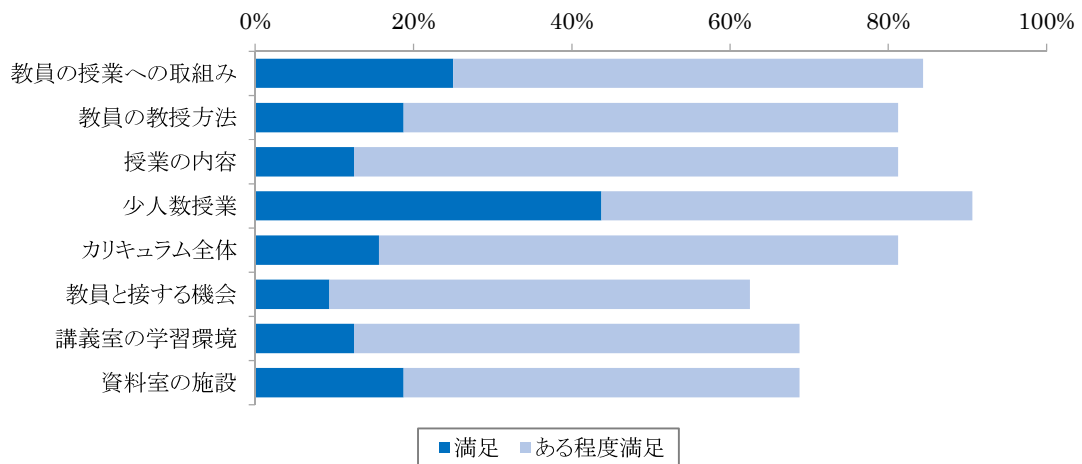
#### 【改善を要する点】

- ・ 教員と接する機会への満足度は相対的に低い。この傾向は前回 (H28 年) の調査でも示されており、教員の学生指導のあり方について、さらなる改善が求められる。
- ・ 経済活動に関する知識や歴史的、国際的視野が身についたという回答は、法律・法律学の知識に比較すると少ない。また、実定法系以外の科目は役立っていると認識が薄い。

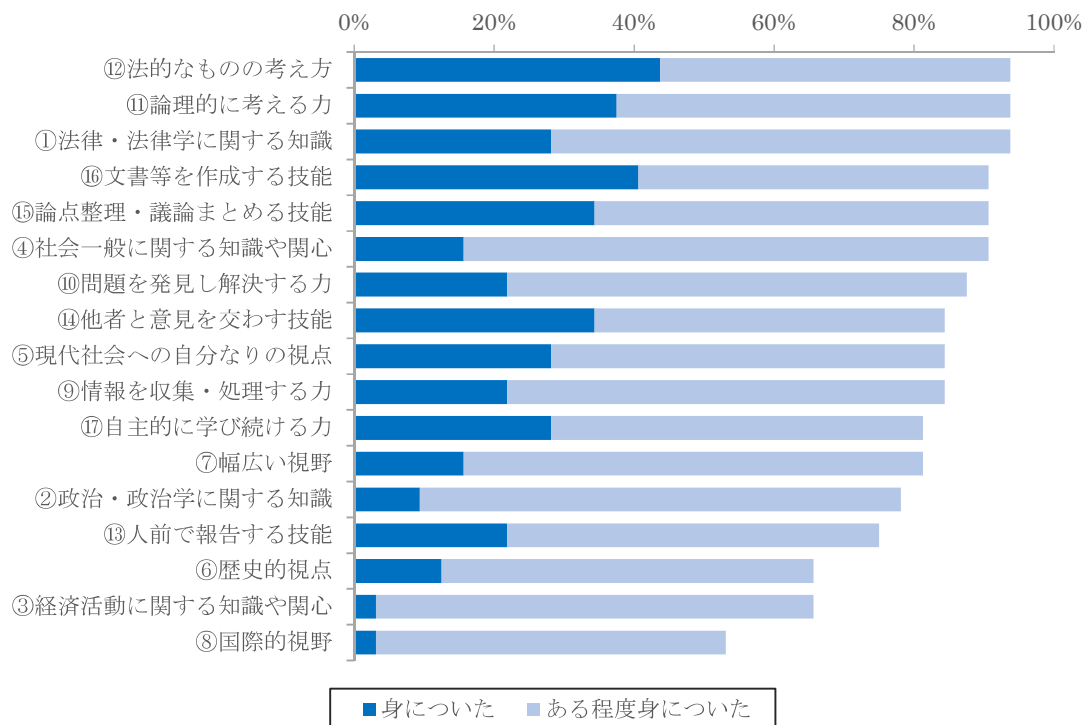
これらの科目群のカリキュラムにおける位置づけを明確にしていく必要があると考えられる。

【参考資料】

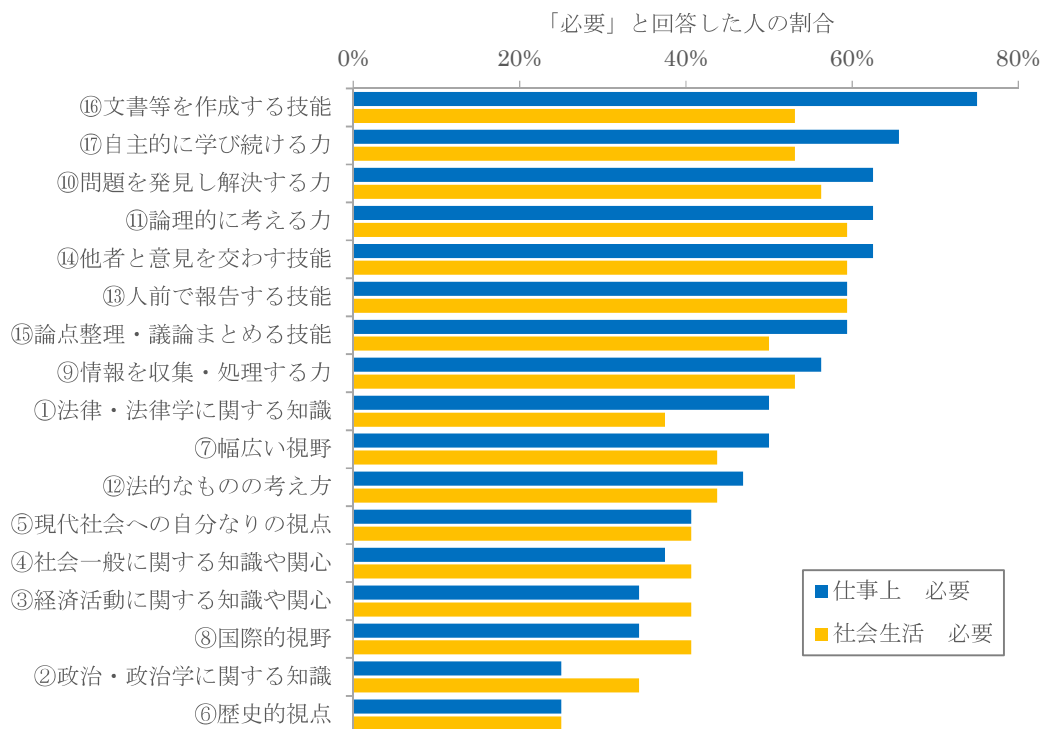
参考資料1 法学部の授業やカリキュラム、学習環境等への満足度



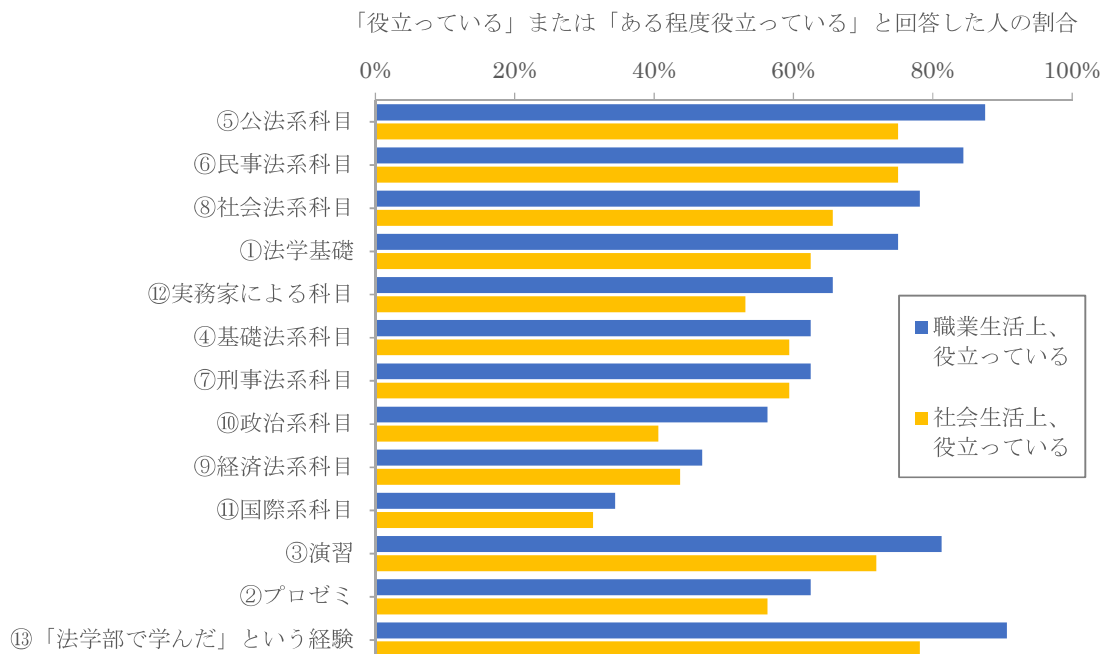
参考資料2 専門教育を通じて身についた知識・能力



参考資料3 工作上、社会生活上、必要とされる知識・能力

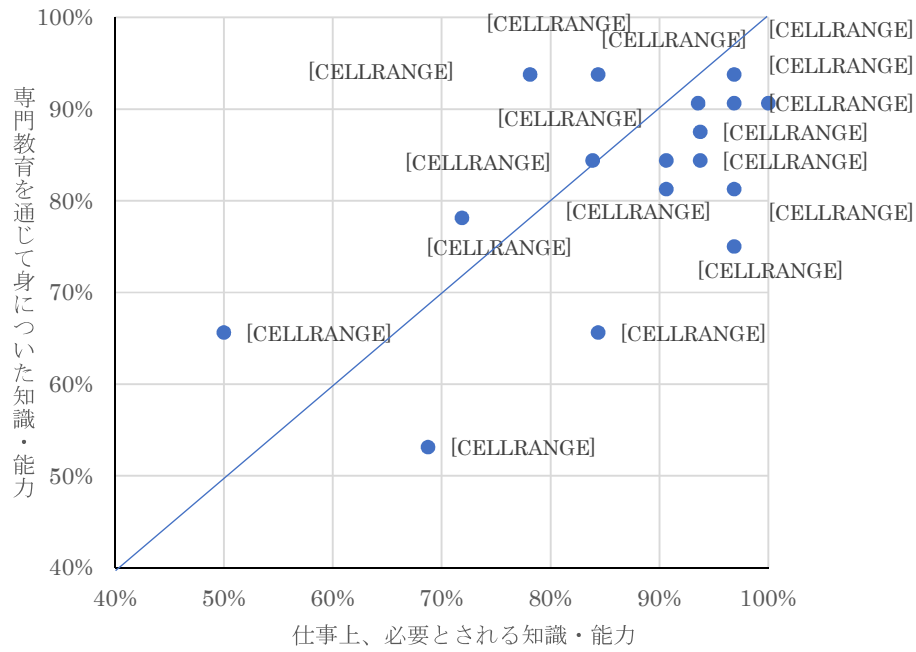


#### 参考資料4 仕事上、社会生活上、役立つ授業科目



#### 参考資料5 仕事上必要とされる知識・能力と

専門教育を通じて身についた知識・能力（問10）



※ 値は、縦軸については「身についた」「ある程度身についた」とした回答の割合、横軸については、「必要」「ある程度必要」とした回答の割合。

## 経済学部

### (1) 分析結果

#### ① 学科 (問 1)

- ・ 経済学科 27 人、経営システム学科 27 人、地域社会システム学科 12 人、計 66 人の卒業生から回答を得た。

#### ② 知識 (問 9-1 から問 9-10 まで)

- ・ 大学教育で「身についた」又は「どちらかと言えば身についた」と回答した割合は、「経済についての知識」が 84.8%と最も高く、「金融についての知識」が 63.6%と次に高いのに対し、「世界各地の経済についての知識」が 37.9%と最も低い。
- ・ 仕事で「役立っている」と回答した割合は、「経済についての知識」が 62.1%と最も高いのに対し、「観光についての知識」と「人類の文化および社会についての幅広い知識」がいずれも 24.2%と最も低く、「世界各地の経済についての知識」が 25.8%と次に低い。

#### ③ データ分析能力 (問 9-11 と問 9-12)

- ・ 大学教育で「身についた」又は「どちらかと言えば身についた」と回答した割合は、定量的なデータ分析能力が 50.0%、定性的なデータ分析能力が 48.5%であり、いずれも十分な水準でない。
- ・ 仕事で「役立っている」と回答した割合は、定量的なデータ分析能力と定性的なデータ分析能力のいずれも 40.9%であり、十分な水準でない。

#### ④ 複眼的思考力等 (問 9-13 から問 9-16 まで)

- ・ 大学教育で「身についた」又は「どちらかと言えば身についた」と回答した割合は、「複眼的な思考力」が 63.6%、「チャレンジ精神や行動力」が 65.2%、「コミュニケーション力」が 72.7%、「課題探求・解決力」が 78.8%であり、いずれも十分な水準である。
- ・ 仕事で「役立っている」と回答した割合は、「複眼的な思考力」が 59.1%、「チャレンジ精神や行動力」が 72.7%、「コミュニケーション力」が 80.3%、「課題探求・解決力」が 75.8%であり、「複眼的な思考力」を除き、十分な水準である。

### (2) 優れた点及び改善を要する点

#### 【優れた点】

経済についての知識、課題探求・解決力、コミュニケーション力、チャレンジ精神や行動力を大学教育で十分に身につけ、それらを仕事で役立てている。また、金融についての知識や複眼的な思考力を大学教育で十分に身につけている。

#### 【改善を要する点】

大学教育で身につけた知識に偏りがある。また、定量的及び定性的なデータ分析能力が十分に身につけていない。今後は、履修する授業科目の偏りを小さくし、統計・調査に関する授業科目を総ての学生に履修させる必要がある。



【参考資料】

	身についた	どちらかと 言えば 身についた	合計	役立って いる
問9-1.	21.2%	63.6%	84.8%	62.1%
問9-2.	10.6%	36.4%	47.0%	34.8%
問9-3.	10.6%	53.0%	63.6%	43.9%
問9-4.	10.6%	45.5%	56.1%	43.9%
問9-5.	12.1%	37.9%	50.0%	40.9%
問9-6.	16.7%	33.3%	50.0%	36.4%
問9-7.	13.6%	31.8%	45.5%	24.2%
問9-8.	15.2%	37.9%	53.0%	34.8%
問9-9.	12.1%	25.8%	37.9%	25.8%
問9-10.	9.1%	36.4%	45.5%	24.2%
問9-11.	10.6%	39.4%	50.0%	40.9%
問9-12.	9.1%	39.4%	48.5%	40.9%
問9-13.	16.7%	47.0%	63.6%	59.1%
問9-14.	30.3%	34.8%	65.2%	72.7%
問9-15.	37.9%	34.8%	72.7%	80.3%
問9-16.	27.3%	51.5%	78.8%	75.8%
問9-1. 経済についての知識				
問9-2. 統計についての知識				
問9-3. 金融についての知識				
問9-4. 会計についての知識				
問9-5. 経営についての知識				
問9-6. 商学・マーケティングについての知識				
問9-7. 観光についての知識				
問9-8. 地域の活性化についての知識				
問9-9. 世界各地域の経済についての知識				
問9-10. 人類の文化および社会についての幅広い知識				
問9-11. 定量的なデータを適切な手法を用いて分析する能力				
問9-12. 定性的なデータを適切な手法を用いて分析する能力				
問9-13. 複眼的な思考力				
問9-14. チャレンジ精神や行動力				
問9-15. コミュニケーション力				
問9-16. 課題探求・解決力				

## 医学部医学科

### (1) 分析結果

県内在住者の割合は入学時59% (16人) から現在52% (14人) に減少 (2人減) している。また東京に在住するものは入学時0から11% (3人) に増加している (問9)。但し、アンケートの回答数が27人しかなく、卒業生全体の動向を示しているとは言えないため実態の把握は難しい。アンケートの対象者が卒後3, 4年目ということで後期研修期間中になり、82%が勤務医または研修医 (前期・後期) (問10)、100%が大学病院等の教育機関または病院に勤務している (問12)。在学当時の医学部の教育についての満足度 (問13) について「満足」または「ある程度満足」と回答したものの割合は、問13A. シラバスの充実度に関しては74-85% (前回調査60-81%)、問13B. 教育法に関しては82-93% (前回調査54-70%) が、問13C. 学習法については70-89% (前回調査58-70%) が、問13D. カリキュラムについては78-92% (前回調査61-72%が)、問13E. 評価法については82-96% (前回調査56-74%) であり、いずれも前回調査よりも「満足」または「ある程度満足」と回答した割合が増えている。科目系により多少の差がみられるものの全体として満足度は高くなっている。医学部での学習・生活支援について、授業以外で教員と接する機会については、85% (前回調査86%) が「満足」または「ある程度満足」と回答している。また、指導教員制度や図書館、情報処理施設・機器、サークル設備、学生の交流スペース等についても78-89%が「満足」または「ある程度満足」と回答しており前回調査とほぼ変わっていない。自習室については「満足」または「ある程度満足」と回答している割合が63% (前回調査65%) と、他の項目に比べて満足度はやや低く前回の調査から変わっていない (問13)。在学中に身についた (「身についた」、「ある程度身についた」) 能力としてあげられるものは、医学の基礎知識が96% (前回調査86%)、人間の尊厳が96%、モラルや礼儀、社会的責任は90% (前回調査79%)、自己研鑽能力90% (前回調査79%) などがあり、前回の調査よりさらに高いポイントとなっている。「身についた」、「ある程度身についた」の割合が低いものは、実践の批判的分析と創造的に発展させる能力67% (前回調査61%)、科学的分析力と探求能力63% (前回調査63%)、協働・連携する能力70% (前回調査63%) があげられ、これは前回調査と同じである。全体を見ればいずれの事項も6割以上が身についたと自己評価している。今回のアンケートで尋ねた事項についてはいずれも92%以上のもの (前回調査84-86%) が現在の仕事の中では「必要」または「ある程度必要」と考えており、大学の設定する「身につけるべき事項」と卒業生の感覚のズレは少ない (問14)。また、96% (前回調査90%) が、医師の国家資格取得のために必要な教育が「行われていた」または「ある程度行われていた」と考えており (問15)、本学の医学部で学んだことについては今回の調査で96% (前回調査88%) が「満足」または「ある程度満足」と考えており、その満足度は高い (問17)。

## (2) 優れた点及び改善を要する点

### 【優れた点】

本学で学んだことに対する総合的満足度は非常に高いと思われる。身についた能力に関しても、医学の基礎知識、人間の尊厳、モラルや礼儀、社会的責任、自己研鑽能力などで9割以上のものが「身についた」、「ある程度身についた」と感じており、前回調査より1割程度良くなっている。

### 【改善を要する点】

学習・生活支援において自習室に対する満足度が低く、自習スペースの拡大などの改善が求められる。身についた能力で相対的に低い(60%台)ものは、実践の批判的分析と創造的に発展させる能力、科学的分析力と探求能力であり、科学研究に実際に触れさせる機会を増やすなどの工夫が求められる。

## 医学部看護学科

### (1) 分析結果

県内在住者の割合は、入学時(73.1%)から現在(65.4%)に減少しているが、半数以上が県内で活躍している(問9)。現在の職種は看護師(63.0%)、保健師(11.1%)、養護教諭(11.1%)であり、85.2%が本学での取得資格で就業している(問10)。勤務場所は大学附属病院または病院(76.9%)、地方公共団体(11.5%)であり(問11)、全員が正規雇用である(問12)。

在学当時の学習や活動の満足度について(問13)、大学教育では専門基礎科目、専門科目、臨地実習ともに、「満足」または「ある程度満足」が84.7%~88.5%であり、全体として満足度は高い。

学習・生活支援について「満足」または「ある程度満足」は、指導教員制度、図書館の施設や蔵書、情報処理関係施設や機器が80.8%で最も多く、次いで授業以外で教員と接する機会80.7%である。一方、「やや不満」「不満」は自習室が38.4%で最も多く、学生の交流スペース、クラブ・サークル関係施設・設備は26.9%である。

在学中に「身についた」または「ある程度身についた」能力としてあげられるものは、看護学の基礎知識(100%)、人間の尊厳・人権を尊重する態度の形成、医療人に求められるモラルや礼儀(96.2%)、看護学の基本的技術、患者・家族と人間関係を形成する能力(88.5%)、自己の実践を批判的に分析し、創造的に発展させる能力(88.4%)である。身についた割合が低いものは医療職種間で協働・連携する能力73.1%である。全ての項目について、7割以上が身についたと自己評価している。一方、現在の仕事の中では全ての項目について84.7~96.2%が「必要」または「ある程度必要」と考えており、大学の設定する「身につけるべき事項」と卒業生の評価は一致している(問14)。また、国家資格取得に必要な教育では、「行われていた」または「ある程度行われていた」が88.5%である(問15)。本学医学部で学んだことについては96.2%が「満足」または「ある程度満足」と考えており、その総合的な満足度は非常に高い(問17)。

### (2) 優れた点及び改善を要する点

#### 【優れた点】

医学部看護学科で学んだことに対する満足度は全体として非常に高い。特に看護の基礎知識と看護の視点から、問題を総合的に分析・判断・解決する能力によって培われた、人間の尊厳・人権を尊重する態度の形成や医療人に求められるモラルや礼儀は、専門職業人としての資質と態度醸成が確実に身につけていることで高く評価できると考える。

#### 【改善を要する点】

医療職種間の協働・連携する能力が、「身につけていない」または「あまり身につけていない」が26.9%であり、臨地実習をとおして様々な職種間連携や地域との連携を学ぶ機会を引き続き増やす工夫が求められる。

## 創造工学部（工学部）

### 1. 学部に関する分析

#### （1）分析結果

【参考資料】にある図1のとおり、工学部専門教育で身についた能力と現在の仕事での有用性との相関はきわめて高い。さらに特筆すべき点として、この関係を前回2016（平成28）年度と比較すると、今回2018（平成30）年度の調査結果では「職業経験の中で役立っている」とした回答の割合が全体的に約10%上昇していることが挙げられる。

これらの中で、相関する項目が互いにいずれも70%以上のもの、すなわち工学部の専門教育で身についたと判断され、これまでの職業経験の中でも役立っている能力・知識は以下のとおりである。

##### ① 言語運用能力

- 1) 問9-1（論理的かつ客観的な文書を作成することができる力）
- 2) 問9-2（多様な情報を適切に利用し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる力）
- 3) 問9-3（工学的な課題について、基礎的な数理法則を用いて分析することができる力）

##### ② 知識・理解

- 1) 問9-7（工学的課題を解決するために必要な工学的基礎知識）

##### ③ 問題解決・課題探究能力

- 1) 問9-9（自主的、継続的に学習し、新たな課題を探究することができる力）
- 2) 問9-10（専門分野において課題を認識し、その解決に向けて企画、立案し、遂行することができる力）
- 3) 問9-11（多様な制約の下で、専門知識、技術を用いて、必要に応じ他者と協力して問題を解決することができる力）

##### ④ 倫理観・社会的責任

- 4) 問9-13（工学倫理に則って、技術者としての社会的役割を担うことができる力）

なお、上記の抽出について、前回2016（平成28）年度では「いずれも60%以上」に対して行ったが、今回2018（平成30）年度では、より良好な関係性にあるものを選ぶ目的で「いずれも70%以上」とした。もし前回と同じ基準で抽出した場合、これらに（問9-6）、（問9-8）、（問9-12）も加わることになる。

一方、相関する項目が互いにいずれも50%未満のもの、すなわち工学部の専門教育で身につけなかったと判断され、これまでの職業経験の中でも役立っていない能力・知識は以下のとおりであり、前回2016（平成28）年度と同様の結果であった。

##### ① 言語運用能力

- 1) 問9-4（英語による情報収集能力、コミュニケーション能力）
- 2) 問9-5（国際的視野を持ち、世界標準の科学技術に関する情報を収集できる力）

##### ② 地域理解

- 1) 問9-14（地域の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて問題を発見し、探究することができる力）

(2) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

工学部の専門性に関わる文書作成やプレゼンテーション能力、基礎的数理法則を用いた分析能力のほか、工学的基礎知識、課題探求力、企画・立案・遂行力、他者と協力した問題解決力、倫理観と社会的な責任感が特に身につけている。また、前回と比較して今回は、「工学部専門教育で身についた能力が職業経験の中で役立っている」とした回答の割合が全体的に約10%上昇した。

【改善を要する点】

前回調査の分析結果と同様、全学共通や学部での教育を通しての外国語運用能力の育成が課題であり、地域理解を促すための施策や活動についても一層進める必要がある。

【参考資料】

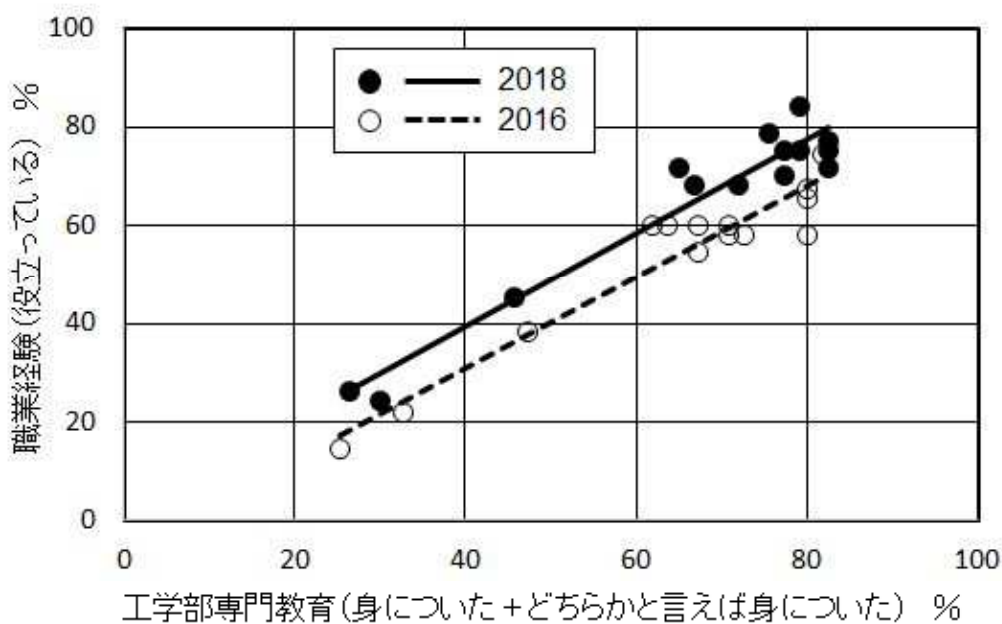


図1. 工学部専門教育で身についた能力と現在の仕事での有用性との相関

## 農学部

(1) 分析結果：30年度と28年度の調査を比較して

①これまでの職業経験の中で役立った能力（問8）：図1、2参照

30年度において70%以上：日本語による「論述作文能力・コミュニケーション能力」、「問題解決・課題探求能力」、「倫理観・社会的責任」、「自己教育の態度」。

両年度ともに値が比較的低い：外国語の「論述作文能力・コミュニケーション能力」、「地域理解」。ただし、28年度と比較して前者は3-10ポイント、後者は10-20ポイント増加している。

②専門教育と学習・生活支援の満足度（問9）：図3参照

専門教育の満足度については、30年度で比較的增加しているのは「コース実験またはフィールド実習」、比較的減少しているのは「共通展開科目」である。ただし両年度とも各項目においてほぼ70%以上と比較的高い。学習・生活支援の満足度は、両年度とも「農学部における友人との交流」が最も高い（70%以上）。一方、「農学部における学生相談窓口」はほぼ30%以下と値が低い。「農学部教員との交流」が比較的增加している。

③職業生活に対する専門教育と学生生活の役立ち度（問10）：図4参照

専門教育の役立ち度については、30年度で比較的增加しているのは「共通展開科目」および「コース実験またはフィールド実習」、比較的減少しているのは「課題研究」である。学生生活の役立ち度については、30年度で比較的增加しているのは「研究室での活動」、比較的減少しているのは「友人との交流」である。しかし、両項目とも70%を超えていた。

④社会生活全般に対する専門教育と学生生活の役立ち度（問10）：図5参照

専門教育の役立ち度については、30年度で比較的增加しているのは「コース専門科目」、「共通展開科目」および「コース実験またはフィールド実習」である。「課題研究」はほぼ同じである。学生生活の役立ち度については、30年度で比較的增加しているのは「研究室での活動」、「友人との交流」である。両項目とも80%を超えている。減少した項目は無い。

(2) 優れた点及び改善を要する点

**【優れた点】**専門教育の職業生活や社会生活全般に対する役立ち度として「コース実験またはフィールド実習」および「共通展開科目」が特に高い値となっている。共通展開科目では地域資源学シリーズとして、オリーブ学、希少糖学及びうどん学を順次開講しており、これらの効果が期待できる。学生生活の役立ち度として、社会生活全般に対しては「友人との交流」、「研究室での活動」が高く、職業生活に対しては「研究室での活動」が高い値になっている。職業生活に対して「課題研究」のポイントが比較的減少しているが、研究室での活動は課題研究と深く関わっており、課題研究活動が卒業後も重要であると考えられる。

**【改善を要する点】**学習・生活支援において「農学部における学生相談窓口」の満足度を高めることが課題である。外国語の「論述作文能力・コミュニケーション能力」は増加しているが、さらなる増加が求められる。

【参考資料】

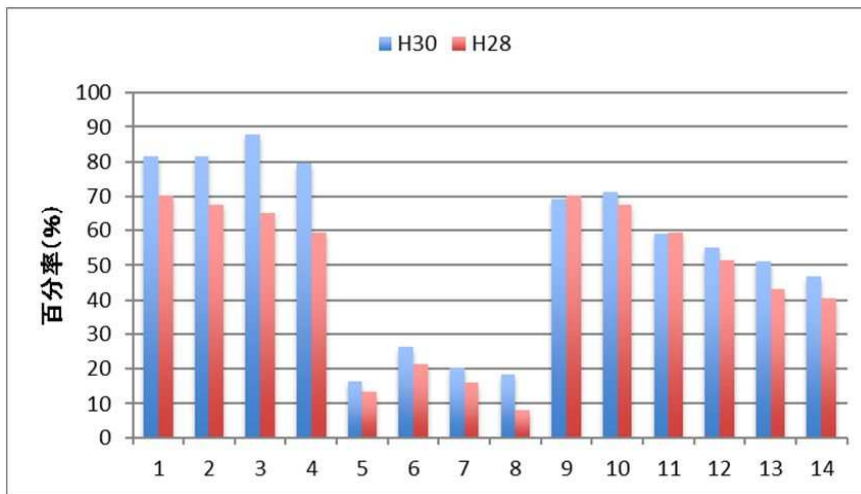


図1 これまでの職業経験の中で役立つ能力（1～14）

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

1：日本語を用いて自分の意見を分かりやすくまとめる力、2：日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、3：相手の意見を丁寧に聴く力、4：日本語を用いて自分の意見を分かりやすく伝える力、5：特定の、外国語を用いて、自分の意見を分かりやすく文章にまとめる力、6：特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、7：特定の外国語を用いて相手の意見を聞き取る力、8：特定の外国語を用いて、自分の意見を分かりやすく伝える力、9：情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力、10：様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力、11：幅広い知識や教養、12：専門分野に関する基礎的な知識、理解、13：専門分野に関する知識、理解を応用する力、14：職業に関する知識や技能。

注2) グラフは「役立っている」の値を示す。

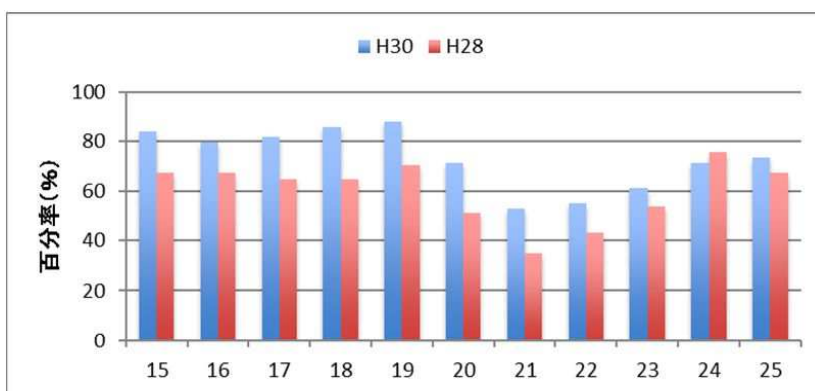


図2 これまでの職業経験の中で役立つ能力（15～25）

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

15：目標を設定し、確実に行動する力、16：現状を分析し、目的や仮題を明らかにする力、17：課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力、18：社会のルール・マナーについて理解す



る力、19:社会のルールを守る力、20:社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力、21:地域に貢献したいという意識、22:地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力、23:多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力、24:物事に進んで取り組む力、25:自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力。

注2) グラフは「役立っている」の値を示す。

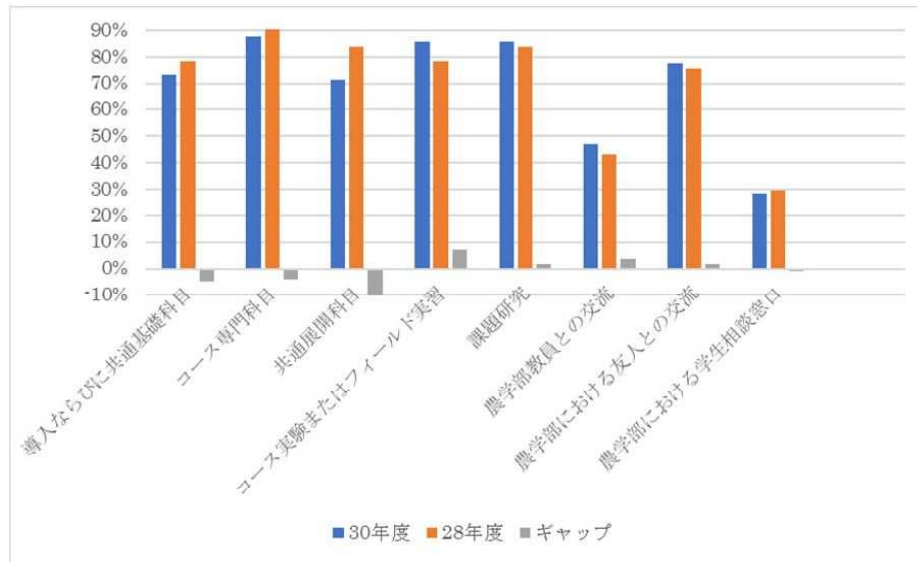


図3 専門教育と学習・生活支援の満足度

注1) グラフは「充実していた」+「ある程度充実していた」の合計値を示している。

注2) インターンシップは回答数が少なかったため省いた。

注3) ギャップは両年度の差を示す。

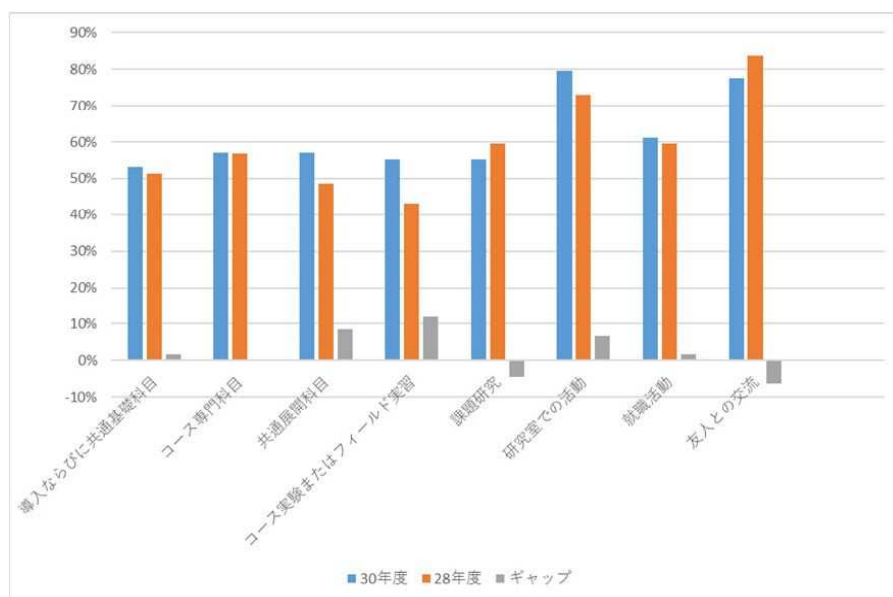


図4 職業生活に対する専門教育と学生生活の役立ち度

注1) グラフは「役立っている」+「ある程度役立っている」の合計値を示している。

注2) インターンシップは回答数が少なかったため省いた。

注3) ギャップは両年度の差を示す。

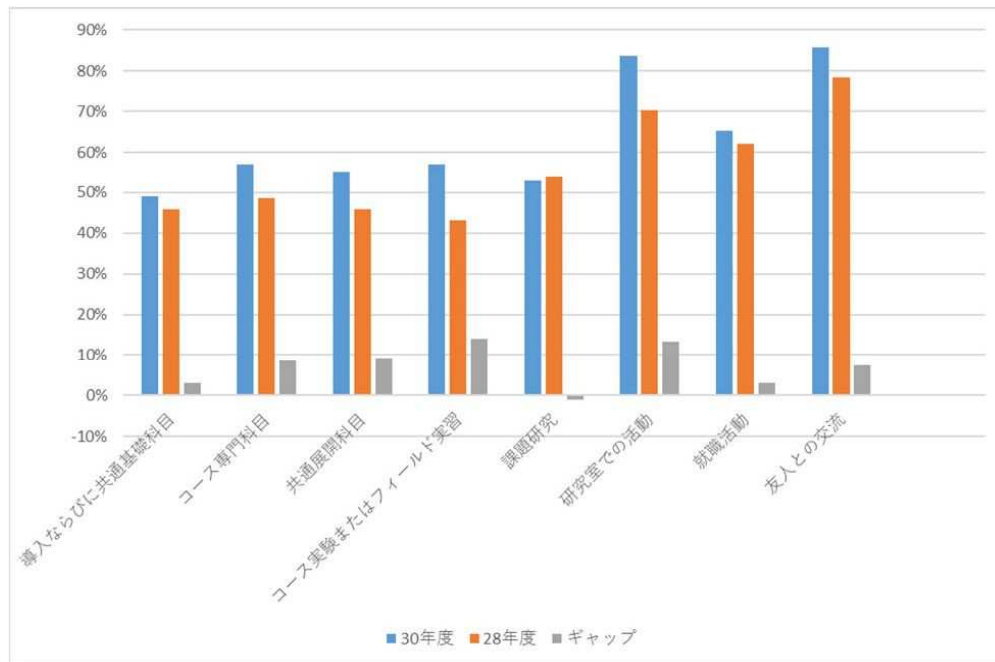


図5 社会生活全般に対する専門教育と学生生活の役立ち度

注1) グラフは「役立っている」+「ある程度役立っている」の合計値を示している。

注2) インターンシップは回答数が少なかったため省いた。

注3) ギャップは両年度の差を示す。

## ＜企業等アンケート調査＞

### 全学的な視点からの分析

#### (1) 分析結果

①企業等の卒業生に対する満足度・・・表1参照

「満足」と「ある程度満足」の数値を合わせると両年度とも90%以上

②職務遂行上での卒業生の能力に対する企業等からの評価・・・図1、2参照

各能力に対する評価の大半が80%以上だが、外国語による「論述作文能力・コミュニケーション能力」に対する評価は各能力において55%前後となっている。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

卒業生に対する企業等の満足度は高く、各能力をみても概ね高い評価を得ている。

##### 【改善を要する点】

外国語の論述作文能力・コミュニケーション能力の育成が、前回調査時からの継続的な課題である。第二期中期計画において、それらの能力の育成は課題となり、対応策が実施されたが、当時の教育課程で学んだ学生が就職した企業等を対象とした調査からは、さらなる改善が求められることが明らかとなった。

【参考資料】

	30年度	28年度	ギャップ
満足	57.1%	49.1%	8.0%
ある程度満足	36.0%	43.8%	-7.8%
やや不満	5.0%	4.0%	1.0%
不満	1.9%	0.0%	1.9%

表 1. 企業等の卒業生に対する満足度

注 1：28年度は上記に加えて、「記入なし」が3.1%であった。

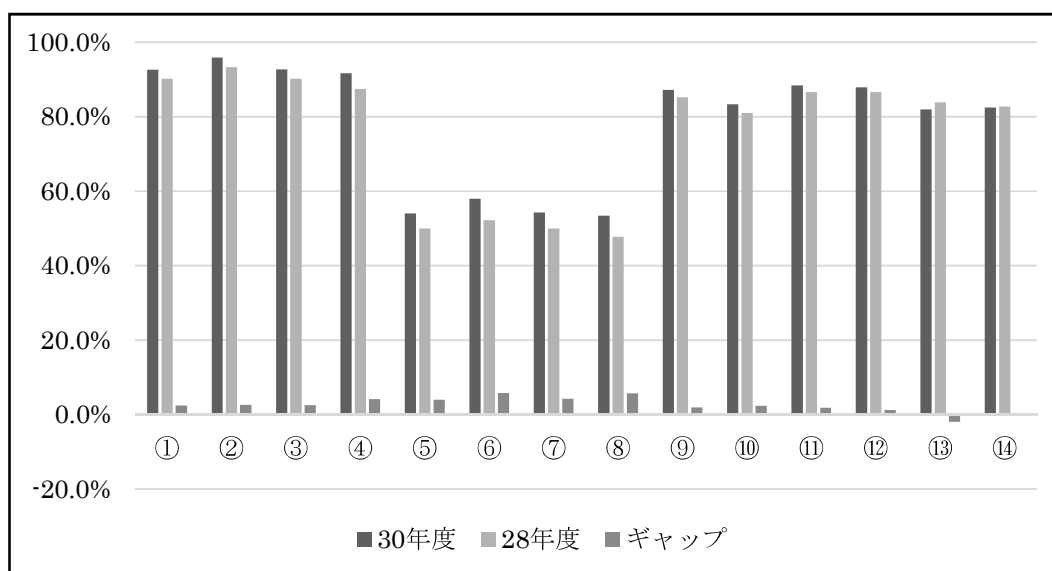


図 1. 職務遂行上での卒業生の能力に対する企業等からの評価 (①～⑭)

注 1：図 1 の各番号は次のとおり対応している。①日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力、②日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、③相手の意見を丁寧に聴く力、④日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力、⑤特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力、⑥特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、⑦特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力、⑧特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力、⑨情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力、⑩様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力、⑪幅広い知識や教養、⑫専門分野に関する基礎的な知識・理解、⑬専門分野に関する知識・理解を応用する力、⑭職業に関連する知識や技能。

注 2：図 1 の値は「企業からの評価」の、「身につけている」「どちらかといえば身につけている」の合計値である（ただし、それぞれの能力に対して「必要とされない」と回答した企業を除く）。また図 1 の「ギャップ」は、両年度の差である。

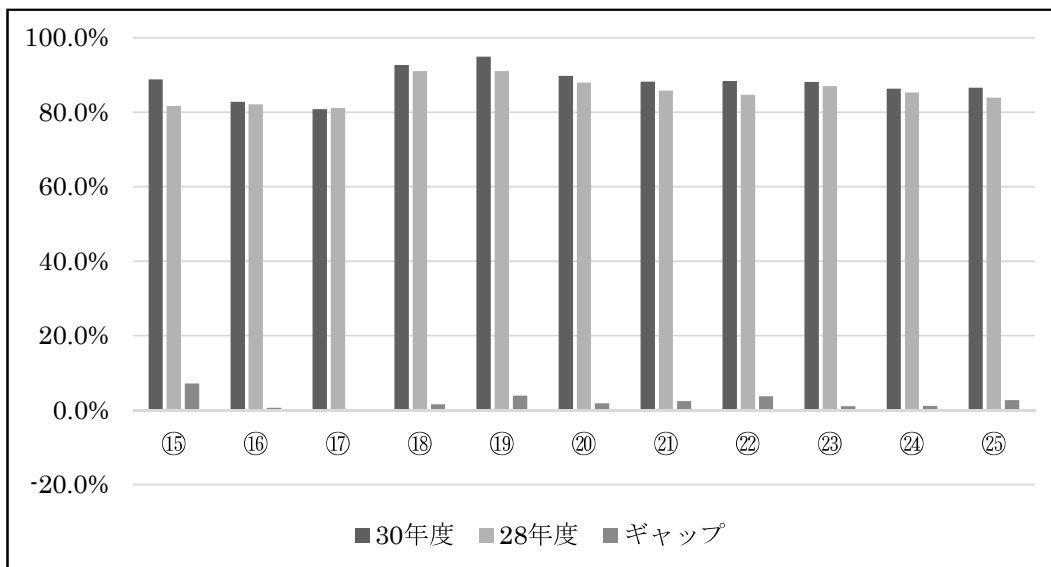


図2. 職務遂行上での卒業生の能力に対する企業等からの評価 (⑮～㉕)

注1: 図2の各番号は次のとおり対応している。⑮目標を設定し確実に行動する力、⑯現状を分析し目的や課題を明らかにする力、⑰課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力、⑱社会のルール・マナーについて理解する力、⑲社会のルールを守る力、⑳社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力、㉑地域に貢献したいという意識、㉒地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力、㉓多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力、㉔物事に進んで取り組む力、㉕自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力

注2: 図2の値は「企業からの評価」の、「身につけている」「どちらかといえば身につけている」の合計値である(ただし、それぞれの能力に対して「必要とされない」と回答した企業を除く)。また図2の「ギャップ」は、両年度の差である。